

所した児童発達支援事業所です。現在、就学前の2歳から6歳までの知的や身体の障害がある子どもや、発達の遅れが気になる子どもも12名が、日々元気に通っています。

シャインは2015年の5月に開所した児童癲癇支援事業所です。現在、就学前の2歳から6歳までの知的や身体の障害がある子どもや、発達の遅れが気になる子どもも12名が、日々元気に通っています。

シャインを開所する前から、子どもたちにはたくさんの体験をさせてあげたいという思いがありました。子どもが健やかに成長していくためには、発達の視点を持ち、一人ひとりが好きなことややりたいことを見つけられるようにしたいと考えました。子どもは、体験したことがないことで不安を感じてしまう場面があるので、「一緒にやってみよう」と誘いながら、楽しい雰囲気をつくるよう配慮しています。

菜づくりでの子どもたちの様子

畑で作る野菜は、実際に子どもたちとお店に行つて決めています。買物は年長の子どもたちを中心に行つていて、今年は男女2人の年長の子どもと母子通園している家族の方も一緒に野菜の種や苗を買いに行つてきました。種売り場では、野菜の写真をじっと見て、迷いながらきゅうりの種を選ぶ子どもや、とろつとした舌触りが好きな子どもは、母と一緒にモロヘイヤを手に取りました。

そして、子どもたちと一緒に買つた。子どもたちと一緒に買つた。子どもたちと一緒に買つた。

感してもらうようにしています。例えば、にんじんドーナツやサツマイモの蒸しパンのお菓子を作つたり、さらに、育てた枝豆を大豆にして、豆腐や醤油になることを、絵や写真、实物を使っていねいに説明したりしました。「このお豆が醤油になるの?」とびっくりする子どもの姿がありました。



感してもらうようにしています。例えば、にんじんドーナツやサツマイモの蒸しパンのお菓子を作つたり、さらに、育てた枝豆を大豆にして、豆腐や醤油になることを、絵や写真、实物を使っていねいに説明したりしました。「このお豆が醤油になるの?」とびっくりする子どもの姿がありました。

少しずつですが、野菜嫌いや偏食の子どもたちに変化が見られています。野菜が苦手で特にトマトが食べられなかつた子どもは、自分がお店で選んだトマトを大切に育て、収穫したトマトを食べられるようになります。

初めは手が汚れるのを嫌がつていたのですが、お友だちが行う姿を見ても、職員も「これならできるかな」と少しずつ一緒にやれることが増やしていました。「名前をつけようか」と言うと、じつと考えて「アイコちゃん」と名付けました。すると毎日水やりを行うようになり、日々トマトの成長を見守るようになつてきました。実ったトマトを手にした時、「〇〇君が頑張って育てたトマトだから、頑張って食べてみようか」と話すと、ちょっとと考えて「食べてみる」と言つて、食べることができます。

川口太陽の家に定出来ない子どもの姿が見られます。野菜作りはそのような子どもたちの新たな力を発見する機会になりました。トマトの成長とともに、心を育てていたのだと思います。

野菜作りが子どもたちの成長へ

砂利だらけの場所が、今では野菜が実る豊かなシャインの畑になりました。毎年、子どもたちと「今度は何を植えようか」と話し、野菜作りが楽しみになっています。

野菜づくりでは、様々なことを経験出来ました。普段の生活からは想像出来ない子どもの姿が見られます。野菜作りはそのような子どもたちの新たな力を発見する機会になりました。トマトの成長を見守るようになつてきました。実ったトマトを手にした時、「〇〇君が頑張って育てたトマトだから、頑張って食べてみようか」と話すと、ちょっとと考えて「食べてみる」と言つて、食べることができます。

川口太陽の家について

川口太陽の家では今年度の旅行について職員や青年隊を中心に話し合つた結果、今年度の旅行を一泊でなく日帰り企画とすることになりました。仲間たちの希望がより反映される旅行になるよう職員側も様々な企画を検討中です。実際に高級グルメを食べよう!スポーツ観戦をしよう!といった企画も出ており、今年度の旅行がどう膨らんでいくのか、とても楽しみです。

地域活動センターたいよう

最近アリオ鶴宮が人気でフードコートやステーキなど自分が食べたいものを堪能したあとに皆と相談しながら買い物をして回りました。仲間たちは表彰状をもらい嬉しそうでした。

白岡太陽の家にじ

午後の活動で手作りボウリングを行いました。ペットボトルのピンをボールで倒す簡単なものですが、それそれがとても上手に行えました。また、昨年は土に触るのが嫌で泣いていた子どもが、今年は率先して植えてくれる姿があり、その姿に職員は、「すごいね。できたね」と一緒に喜びあいました。

日々の水やりでは、積極的にホースで水撒きをする子どもや、小さなじょうろを使って職員と一緒に水をあげる子どもがいて、それそれがで選んでもらいました。

初めて種を植える子どももいましたが、それそれがとても上手に行えました。また、昨年は土に触るのが嫌で泣いていた子どもが、今年は率先して植えてくれる姿があり、その姿に職員は、「すごいね。できたね」と一緒に喜びあいました。

ふれあいのもりまつりの仲間ステージで何をするか話し合いました。「歌が良い」ということになり、「夢をかなえてドラえもん」を歌うことになりました。ステージ内容選びから練習まで、自分たちで考え作ってきたステージになつたのではな

## おひさま通信

### 野菜作りで

### 子どもたちと育ちあう

\* シャイン \*

野菜づくりでの子どもたちの様子

太陽の里

シャインは2015年の5月に開所した児童癲癇支援事業所です。現在、就学前の2歳から6歳までの知的や身体の障害がある子どもや、発達の遅れが気になる子どもも12名が、日々元気に通っています。

シャインを開所する前から、子どもたちにはたくさんの体験をさせてあげたいという思いがありました。子どもが健やかに成長していくためには、発達の視点を持ち、一人ひとりが好きなことややりたいことを見つけられるようにしたいと考えました。子どもは、体験したことがないことで不安を感じてしまう場面があるので、「一緒にやってみよう」と誘いながら、楽しい雰囲気をつくるよう配慮しています。

シャインを開所する前から、子どもたちにはたくさんの体験をさせてあげたいという思いがありました。子どもが健やかに成長していくためには、発達の視点を持ち、一人ひとりが好きなことややりたいことを見つけられるようにしたいと考えました。子どもは、体験したことがないことで不安を感じてしまう場面があるので、「一緒にやってみよう」と誘いながら、楽しい雰囲気をつくるよう配慮しています。

シャインを開所する前から、子どもたちにはたくさんの体験をさせてあげたいという思いがありました。子どもが健やかに成長していくためには、発達の視点を持ち、一人ひとりが好きなことややりたいことを見つけられるようにしたいと考えました。子どもは、体験したことがないことで不安を感じてしまう場面があるので、「一緒にやってみよう」と誘いながら、楽しい雰囲気をつくるよう配慮しています。

川口太陽の家について

川口太陽の家では今年度の旅行について職員や青年隊を中心に話し合つた結果、今年度の旅行を一泊でなく日帰り企画とすることになりました。仲間たちの希望がより反映される旅行になるよう職員側も様々な企画を検討中です。実際に高級グルメを食べよう!スポーツ観戦をしよう!といった企画も出ており、今年度の旅行がどう膨らんでいくのか、とても楽しみです。

地域活動センターたいよう

最近アリオ鶴宮が人気でフードコートやステーキなど自分が食べたいものを堪能したあとに皆と相談しながら買い物をして回りました。仲間たちは表彰状をもらい嬉しそうでした。

白岡太陽の家にじ

午後の活動で手作りボウリングを行いました。ペットボトルのピンをボールで倒す簡単なものですが、それそれがとても上手に行えました。また、昨年は土に触るのが嫌で泣いていた子どもが、今年は率先して植えてくれる姿があり、その姿に職員は、「すごいね。できたね」と一緒に喜びあいました。

初めて種を植える子どももいましたが、それそれがとても上手に行えました。また、昨年は土に触るのが嫌で泣いていた子どもが、今年は率先して植えてくれる姿があり、その姿に職員は、「すごいね。できたね」と一緒に喜びあいました。

日々の水やりでは、積極的にホースで水撒きをする子どもや、小さなじょうろを使って職員と一緒に水をあげる子どもがいて、それそれがで選んでもらいました。

初めて種を植える子どももいましたが、それそれがとても上手に行えました。また、昨年は土に触るのが嫌で泣いていた子どもが、今年は率先して植えてくれる姿があり、その姿に職員は、「すごいね。できたね」と一緒に喜びあいました。

ふれあいのもりまつりの仲間ステージで何をするか話し合いました。「歌が良い」ということになり、「夢をかなえてドラえもん」を歌うことになりました。ステージ内容選びから練習まで、自分たちで考え作ってきたステージになつたのではな

川口太陽の家について

川口太陽の家では今年度の旅行について職員や青年隊を中心に話し合つた結果、今年度の旅行を一泊でなく日帰り企画とすることになりました。仲間たちの希望がより反映される旅行になるよう職員側も様々な企画を検討中です。実際に高級グルメを食べよう!スポーツ観戦をしよう!といった企画も出ており、今年度の旅行がどう膨らんでいくのか、とても楽しみです。

地域活動センターたいよう

最近アリオ鶴宮が人気でフードコートやステーキなど自分が食べたいものを堪能したあとに皆と相談しながら買い物をして回りました。仲間たちは表彰状をもらい嬉しそうでした。

白岡太陽の家にじ

午後の活動で手作りボウリングを行いました。ペットボトルのピンをボールで倒す簡単なものですが、それそれがとても上手に行えました。また、昨年は土に触のが

